

連載特集 - 衛星余話

本誌編集委員 風神 裕

少し異なる視点からの宇宙開発の歴史（１）

本誌編集委員の風神と申します。今月より数回に亘り本連載を担当することになりました。宜しく願い申し上げます。



著者近景

73年に某電機メーカーに入社以来30年近く宇宙関連の仕事に従事してきました。小学生の頃から夜空に興味があった為、かれこれ半世紀近く宇宙に縁があります。そんな関係で、宇宙開発の歴史について、お話しても差し支えないと判断し連載をお引き受けした次第です。但し、内容は今までの執筆者の方々の拡張高いものと比べれば落差大の為、賢明な読者はこちら辺で別のページに移ることをお勧めします。

| Year | Movie Title | James Bond as | Topics |
|------|---------------------------------|----------------|-----------|
| 1962 | Dr. No | Sean Connery | Rocket |
| 1963 | From Russia With Love | Sean Connery | |
| 1964 | Goldfinger | Sean Connery | |
| 1965 | Thunderball | Sean Connery | |
| 1967 | You Only Live Twice | Sean Connery | Satellite |
| 1969 | On Her Majesty's Secret Service | George Lazenby | |
| 1971 | Diamonds Are Forever | Sean Connery | Satellite |
| 1973 | Live And Let Die | Roger Moore | |
| 1974 | The Man With Golden Gun | Roger Moore | |
| 1977 | The Spy Who Loved Me | Roger Moore | |
| 1979 | Moonraker | Roger Moore | Shuttle |
| 1981 | For Your Eyes Only | Roger Moore | |
| 1983 | Octopussy | Roger Moore | |
| 1985 | A View To A Kill | Roger Moore | |
| 1987 | The Living Daylights | Timothy Dalton | |
| 1989 | Licence To Kill | Timothy Dalton | |
| 1995 | Golden Eye | Pierce Brosnan | Satellite |
| 1997 | Tomorrow Never Dies | Pierce Brosnan | Satellite |
| 1999 | The World Is Not Enough | Pierce Brosnan | Satellite |

「From Russia with Love」という映画を見たのが高校生の時だったと思います。これが私とジェームスボンドの初めての出会いです。それ以来このシリーズの病みつきとなり、手元に19本のDVDがあります。随分原作も読みましたが、映画は原作以上に楽しく、タイトルこそ同じであり、内容は全く別の場合もあります。ボンド俳優もショーンコネリーからピエースブロスナンまで5人に入れ

替わっています。映画の内容を整理してみると、原作には全く無い人工衛星などが多数登

場し、宇宙開発の最先端を走っているような気がします。言い方を変えれば、「異なる視点からの宇宙開発の歴史」と捉えることが出来る為、年代順に映画のタイトルを並べ、宇宙との関連を整理したのが上の表です。多少こじ付け的な点もありますが、19 作品中 7 本が宇宙と関係があります。この 7 本を中心に宇宙開発の歴史を振り返りたいと思います。



ジェームスボンドシリーズの DVD

制作遅れにより、急遽第五作をショーンコネリーをお願いして作り上げたという経緯があります。原作は第六作、第五作の順であり、順序を入れ替えた為、話しの内容を変更せざるを得なくなり、第 5 作が原作とかなり異なったものとなりました。ジェームスボンドシリーズに宇宙関連が大きく取り入れられたのもこれ以降の作品からです。それまでの第三作「Gold Finger」と第四作の「Thunder Ball」も原作に忠実で、宇宙とは関係の無いテーマです。

ジェームスボンドは第一作「Dr. No」から宇宙に縁があります。1962 年の作品であり、当時は米ソの人工衛星打ち上げが活発な年でした。ロケット打ち上げに対する妨害が Dr. No の悪巧みでした。Dr. No の秘密基地の運用管制室に備え付けられたオシロスコープが何故か良く覚えています。でも、MI6 はジャマイカの支局と交信する時、通信衛星ではなく短波無線機を使っていました。INTELSAT の設立は 1964 年 8 月、アーリーバードによる商用衛星通信サービスの開始は 1965 年 4 月の為、止む終えないでしょう。

第五作（1967 年）「You Only Live Twice」は宇宙そのものです。日本のロケット打上秘密基地に潜入したジェームスボンドが大活躍するお話です。当時は米ソの宇宙開発競争が激しい時代でした。米国は 60 年代中に必ず人類を月に送ると宣言していました。プロフェルドが米ソの有人宇宙船を盗み、両国を仲違いさせようと企みました。映画では若き日の丹波哲郎、浜三枝他日本人俳優が活躍しました。中でも、若林映子が運転したトヨタ 2000GT を良く覚えています。ジェームスボンドを乗せて、東京の街中を逃げ回る時、車に装備さ

ショーンコネリーは第一作（1962 年）「Dr. No」から第七作（1971 年）「Diamond is forever」の 6 本に出演、第六作の「On her Secret Majesty」はジョージレーゼンビーが演じています。この作品ははシリーズ中一番原作に忠実に映画化されましたが、宇宙開発と関係ない食料問題を取り扱っています。第六作は、本来、第五作の「You only live twice」の前に上演する予定で進められましたが、

れた GPS 装置が大活躍しました。正直、映画を見ながら、これが実現すれば素晴らしいシステムだと感心していました。今では当たり前となっていますが。電離層観測衛星の打ち上げは 1974 年です。この時日本の内閣調査室はどの衛星使用したのでしょうか。今なお解けない謎です。

第七作(1971年)「Diamond Are Forever」は原作にかなり忠実に映画化されましたが、最後に人工衛星が現れ、皆が追い求めたダイヤモンドの目的が明らかになります。人工衛星にレーザー兵器を積み込みダイヤモンドの屈折率を利用、地上に殺人光線をばらまこうとする物騒なお話でした。ダイヤモンド追跡の途中、砂漠の中にある衛星工場にジェームスボンドが潜入します。ここは、ウィラードホワイトになりすましたプロフェルドが密かに人工衛星を組み立てている場所であり、工場の入口にはテクトロニクスと書かれていたのを覚えています。また、私が初めて衛星組立て工場を見たのもこの映画でした。ウィラードホワイトはハワードヒューズをもじった人物です。また、この工場には月面探索機もあり、砂漠の中の追跡劇で大活躍します。その他、人工衛星の追跡管制室も出てきます。コマンドデータをカセットテープに記録させる着想は当時の電子機器の状況を良く表わしていると思います。余談ですが、カセットテープがパソコンの記憶装置に使用されるようになったのは 1980 年代になってからと記憶しています。

以上がショーンコネリーがジェームスボンドを演じたシリーズです。こんな連載は止めるとお叱りが無ければ、次回はロジャームーアのシリーズについて纏めます。